

(仮訳)

## プレス・リリース

2012年7月2日

保険監督者国際機構

IAIS(保険監督者国際機構)が「国際的に活動する保険グループの監督のための共通の枠組み(ComFrame)」(第二次案)に関する市中協議文書を公表

市中協議期間は2012年8月31日まで

バーゼルー保険監督者国際機構(IAIS)は、本日、3年間の策定期間における第二段階を完了し、国際的に活動する保険グループ(IAIG)の監督のための共通の枠組み(ComFrame)の2012年版ドラフトを公表した。監督者、保険会社及びその他の利害関係者は、8月31日までにコメントを提出することを奨励される。

ComFrameは、国際的に活動する保険グループ(IAIG)のグループ監督のための、統合された、多国間の、総合的な枠組みである。それは、2011年10月に改訂され、別に定める場合を除き、全ての保険会社及び保険グループに適用されるIAISの保険基本原則(ICP)、基準、指針に基づき、また、それを補完するものである。

「グローバルな相互関連性が高まる金融市場において、監督者は多国間で効率的に協調及び協力する能力が必要である。」と、IAIS執行委員会のピーター・ブラウミュラー議長は言う。「ComFrameは、クロスボーダーで活動する複雑な保険グループの監督において効果的に協働し、また、グローバルな金融安定に貢献するために必要とされる基盤を提供し、個々の保険契約者の保護を助けるものとなろう。」

ComFrameは、グローバルな保険市場において高まるIAIGの関連性にもかかわらず、そのような大規模かつグローバルなグループの監督のための国際的に首尾一貫した枠組みが、保険基本原則(ICP)以上に存在しない、という認識に対して策定が開始された。ComFrameには、監督者間でより一層の協調と協力が行われることを意図した監督者のための基準のみならず、IAIGのための定性及び定量基準を含む。

ComFrameの4つの主要な便益(4つのC)は以下のとおり。

1. 監督基準及びプロセスのカスタマイゼーション。IAIGは、最大規模かつ最も複雑な保険会社であり、それ自体に、カスタマイズされた監督基準と監督プロセスが必要である。
2. コンバージェンスの促進。ComFrameは、ルール・ベースになることなく、可能な限りの整合性を達成することを目的として、監督アプローチにおける一層の共通性及び比較可能性を促すために策定される。

3. 複雑性の低減。ComFrame は、グループ・レベルで、かつ、グループ監督者とホスト監督者間で、IAIG の監督活動と情報を調整する。それにより、監督上の努力における重複を低減させ、結果、IAIG に関する要求を低減させる。

4. 協調と協力の向上。監督者が、IAIG がどのように活動し、また、どのように最も効率的に監督され得るかを理解し協働する時、監督はより効果的なものとなる。ComFrame は、監督プロセスを無駄なくし、また、IAIG のための複数の調整されていない監督上のプロセスを低減させるものとなろう。

よくある質問のリストを含む詳細は、IAIS ウェブサイト [www.iaisweb.org](http://www.iaisweb.org) で入手可能。